西地区まちづくり広報誌

西地区 愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

ひまわり

第45号
発行　令和８年７月１日
西地区まちづくり
推進委員会
西地域コミュニティセンター内
TEL 028－635－7141

西地区まちづくり推進委員会のホームページができました



インターネットは私たちの生活の中に溶け込み、すっかり身近な情報通信技術となりました。

私たち「西地区まちづくり推進委員会」も、西地区内の様々な地域情報やできごとを、広く地域の皆様にお知らせすることなどを目的として、令和7年度の「宇都宮市デジタル活用支援事業補助金」を活用し、新たにホームページを開設しました。

やっとよちよち歩きを始めたばかりのホームページですので、皆さまから見れば物足りないところだらけだと思います。でも、人と同じで少しずつ成長しながら、日々の生活の役に立ち、西地区の良さを再発見できて、街歩きが楽しくなるような記事やニュースを提供しながら、地域にお住いの皆さまから必要とされるホームページになるように、大切に育てまいりますので、気になった方は時々覗いてみてください。

きっと、着実に日々進化し、成長し続けるホームページを実感していただけることと思います。

私たちからの発信ばかりでなく、地域内の情報のご提供や、お問い合わせやご相談、ご意見をお待ちしています。

ホームページQRコード

第12回西小学校の桜を見る会

令和８年３月28日(土)



満開の桜の下、『西小学校の桜を見る会』が開催されました。

この催しは、西小学校で一本だけ残った桜の木を大切にしようと始まったもので、今回で12回目を迎え、今では春の訪れを告げる地域の恒例行事として定着しています。

今年も西地区内の各団体や地域ボランティア、西小卒業生をはじめ多くの皆様のご協力により開催することができました。



『西地区ひまわり太鼓』の迫力ある演奏がオープニングを飾り、合唱サークル『叙情歌を歌う会』の懐かしい歌声、太極拳サークル『西拳游会』による剣舞が会場を盛り上げました。

また、手芸サークル『T,sサークル』によるアクセサリー作り体験や、大貫洋子様指導の七宝焼ワークショップも大好評でした。子ども向けの企画も充実し、来場者の皆さまに笑顔をお届けできた一日となりました。

第23回西地区大運動会

令和８年５月23日(土)



地域と西小学校の合同による第23回西地区大運動会を開催しました。今年は校舎長寿命化改修工事が終了し、久しぶりに広々とした校庭で思う存分競技を行うことができました。また各種目では地域の方々や小学生から応援の声が飛び交い、改めて地域の親睦が図れた素晴らしい一日になりました。運動会実施にあたり、ご参加くださった地域の皆様、企画・準備段階からご尽力いただいた学校やＰＴＡの皆様、そして一条中学校のボランティアの皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。





西地区球技大会

令和８年６月13日(土)



西小学校で西地区球技大会を開催しました。直前の台風による悪天候や熊出没による小学校の休校を受け十分な練習ができませんでしたが、当日はバレーボールとソフトボールの２種目で、各地域の有志の方々が勝利に向けて熱戦を繰り広げました。ご参加いただきました皆様、お疲れ様でした。

令和８年度西地区まちづくり推進委員会事業計画

〔地域づくり活動〕

月　　日	事　業　内　容	開　催　場　所
令和８年５月16日(土)	総会（４団体合同総会）	西地域コミュニティセンター
令和８年７月１日(水)	情報誌【ひまわり45号】発行	全世帯配布
令和８年７月25日(土)～ ７月26日(日)	第20回　学校へ泊まろう！	西小学校 西地域コミュニティセンター
令和８年８月	西地区若者Ｕターンゲート事業	西地域コミュニティセンター
令和８年10月31日(土)	バス研修【地域のまちなみを楽しもう】	行先は埼玉県行田市方面を予定
令和８年10月（全４回）	歴史講座（講師：柏村佑司氏）	西地域コミュニティセンター
令和８年12月上旬の(土)	西地区歳末チャリティー餅つき大会【第23回】	西小学校　校庭 西地域コミュニティセンター
令和９年１月予定	西地域コミュニティセンター避難訓練	西地域コミュニティセンター
令和９年２月	楽しくクッキング（西小児童対象） アサヒクッキングスクール校長　吉野ひろみ先生	西地域コミュニティセンター
令和９年２月～３月	西和太鼓教室（３回）	西地域コミュニティセンター
令和９年３月１日(月)	情報誌【ひまわり46号】発行	全世帯配布
令和９年３月27日(土)	第13回　西小学校の桜を見る会	西小学校　校庭

材木町通り協和会自治会

当自治会は町会、いきいきサロンの協働により活動しています。

月１回のサロン、年２回の落語会（津軽三味線と共演）、毎月20日に聖天さん跡地の参拝（１月、５月、９月にご本尊を安置していただいている生福寺に参拝）５月の参拝後に食事会を開いています。また、サロン、落語会をはじめ、イベントの会場として「みんなの保健室」を利用させていただくとともに健康に関するセミナーに参加しています。





催し物のご案内

〔歴史講座〕

「二荒山神社の秘密をさぐる」を共通テーマとして、10月24日から毎週土曜日の午後、全４回のシリーズで、栃木県立博物館名誉学芸員 柏村佑司先生による大人気の歴史講座を開催いたします。

各会のテーマ

第１回 10月24日 (土) お明神様から二荒山神へ　社名の変遷
第２回 11月７日 (土) 二荒山神社の式年遷宮祭　文化人宇都宮氏
第３回 11月14日 (土) 二荒山神社の盛衰　悪役の秀吉・仏の家康
第４回 11月21日 (土) 菊水祭における屋台・山車　氏子町人の心意気

いずれも時間は、13:30 ～ 15:00

〔秋の日帰りバス研修〕

例年大好評の「地域の街並みを楽しむ日帰りバス研修」を本年も10月31日(土)に実施いたします。

行先は、映画「のぼうの城」でも話題になり、秀吉が唯一落とせなかったと伝えられている「忍城（おしじょう）」がある埼玉県行田市方面を予定しています。

詳細がはっきりしましたらお知らせいたしますので、今年もたくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。

熱中症避難所開設について

西地域コミュニティセンターでは、昨年に続き、「熱中症避難所」を開設しています。

今年も酷暑が予想されます。「今日も暑いな」と感じたら、エアコンの効いた西コミセンにいらして、涼しく快適な時間をお過ごしになりませんか？新聞などの読み物のほか、冷たい麦茶や冷水を用意して、皆様のお出でをお待ちしています。６月からは、子供新聞も読めますよ。

シリーズ　わたしたちのまち、再発見!!(第11回)

祭りの華 西地区の山車・屋台

栃木県立博物館名誉学芸員　柏村　佑司

二荒山神社の菊水祭といえば古くは、山車や屋台が市中を巡行する付祭りが有名であった。山車・屋台の巡行が盛んになったのは、延宝元年（1673)、旧暦９月の例大祭の折に手踊りなどをお祭礼行列の後に続いて行うようになってからである。特に幕末の弘化４年（1874）には、祭り町内38町が参加し合計81もの出し物を繰り出した。中でも多いのが山車と屋台である。ところが残念なことに戊辰戦争と第二次世界大戦の空襲による焼失等で大半の山車・屋台を失った。そうした中で我が西地区には江戸期から伝わる伝馬町の屋台、本郷町の山車、新石町の山車が残ったのである。

伝馬町の屋台は彫刻屋台で嘉永５年（1852）に作られ、豪華絢爛な彫り物は下野国随一の彫り師礒辺儀兵衛等によるものでその見事さは動く陽明門の異名が付くほどである。本郷町の山車は、明治14年（1881)、当時江戸で活躍していた人形師三代目原秋月の手になるもので、神功皇后三韓征伐の故事に基づき神功皇后、皇后の愛児を抱く武内宿禰の人形を飾るものである。新石町の山車は、弘化４年（1874）以前に作られたと思われ、豪華な火焔太鼓の作り物を乗せた山車である。昭和55年（1980）新石町自治会より残存物が宇都宮市に寄贈された。現在の火焔太鼓山車は、「宮のにぎわい　山車復活プロジェクト」により平成26年に復元されたものである。

現在、伝馬町の彫刻屋台は、同町内の屋台収蔵庫に、新石町の火焔太鼓山車は宇都宮城址公園内にそれぞれ保管展示されている。３基の山車・屋台は、かつての西地区の町人たちの財力と旺盛な心生きにより作られたものである。願わくは菊水祭に繰り出す事が出来ればと思う。西地区の総力を挙げて実現できれば、一段と西地区民の町づくりへの意識が高まるに違いない。



伝馬町の彫刻屋台



旧新石町の火焔太鼓山車



本郷町の神功皇后人形山車

Voice　いつか来た道

元総理の田中角栄氏が「戦争を知っている世代が政治の中枢にいるうちは、戦争について議論する必要はないが、戦争を知らない世代が政治の中枢になったときはとても危ない」と語っていた。

必要もない台湾有事の答弁をし、中国とに緊張を煽り、国是である専守防衛を無視し攻撃される前に敵基地を叩くためとして、南西諸島にミサイルを配備しているのが現状です。

ヒトラーの片腕と呼ばれたゲッペルスは、「国民は戦争を望まない。しかし決めるのは指導者で、国民を欺くのは簡単だ。外国に攻撃されつつあると言えばよい」と述べています。

なんとなく今の日本の現状に似ているように思えます。アメリカから高額な武器を多数購入するより、被災地で懸命に働き、一旦緩急の時は最前線に立つ隊員の待遇改善の方が優先でしょう。

最後に、栃木県を代表する政治家、田中正造は「権力の監視を怠れば、権力は盗みを働く」と言っています。先人の言葉を噛み締め現実を直視したいものです。　　文責　一　松岡 明直一

地域のお困りごと

西地区支えあい活動は、お庭の草むしりなど暮らしのお困りごとに子ども若者たちがお手伝いする取り組みとして、2022年８月に始まりました。毎年、年間10件を超えるご依頼をいただいています(１回2,000円利用料いただきます)。暮らしのお困り事が、多世代が関わりあえる場に代わります。お困り事は、コミセンまで。(岩井)



編集後記

広報担当になりました上野です。皆さまに楽しんで読んでいただける広報誌づくりを目指して頑張ります。

昨年10月からゴールデンレトリバーの子犬と暮らしています。散歩中に見かけたらぜひ声をかけてください。人が大好きなので、撫でていただけると喜びます。

描画材料
ガクブチ
掛　軸
絵　画
白木屋
宇都宮市伝馬町1-4（大通り）
宇都宮（028）633－3258㈹

UTSUNOMIYA
ホテル丸治